

IV【報告】「神戸2020ビジョン」総括検証・評価結果について

1. 概要

神戸市では、2016年3月に「第5次神戸市基本計画」の実現に向けた実施計画として、「神戸2020ビジョン」を策定した。当ビジョンでは、2016年度から2020年度までの5年間で取り組む施策のうち、「若者に選ばれるまち」「誰もが活躍するまち」を全体テーマとして掲げ、その実現のために6つの基本的方向性を定め、2015年10月に策定した「神戸創生戦略」と一体的に取り組んできた。

現在、計画の達成に向けて取組みを進めているところであるが、次期ビジョンの策定に向け、今後の方向性なども踏まえながら、「神戸2020ビジョン」の総括検証・評価を行った。

なお、検証・評価は、個々の施策の達成度だけでなく、計画を推進する中で得た成果や市民アンケートの結果、まちの質・くらしの質を評価する客観的な指標も織り交ぜながら総合的に実施した。

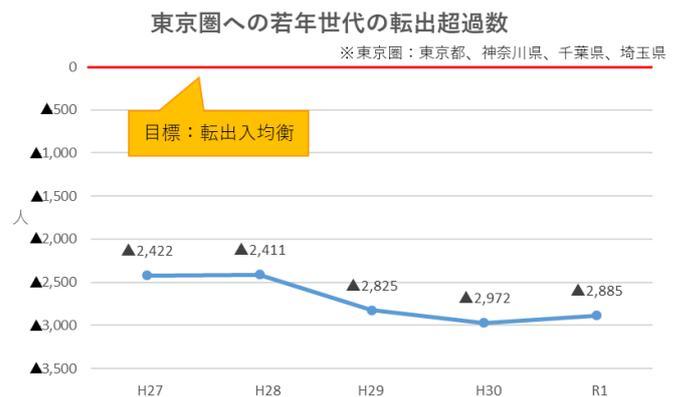
2. 全体目標

○年間12,000人の出生数を維持

⇒実績：10,468人（令和元年）

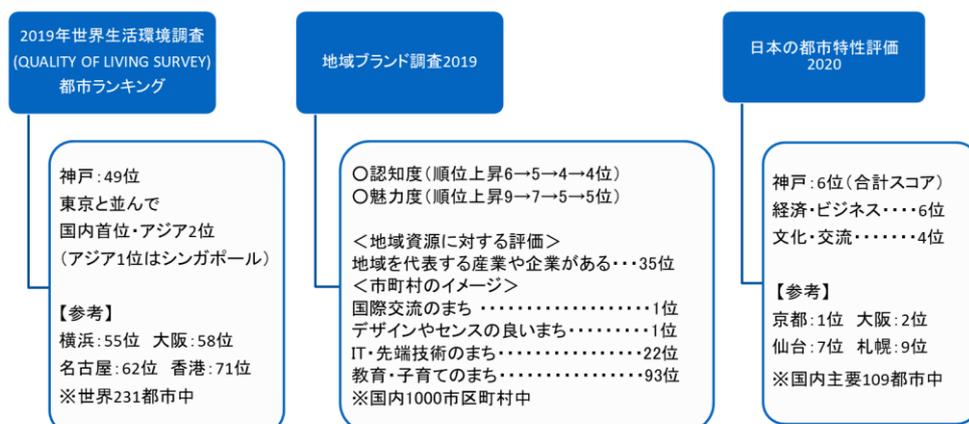
○若者の神戸市への転入を増やし、東京圏への転出超過年間2,500人を解消

⇒実績：▲2,885人（令和元年）



3. まちの質・くらしの質を示す客観的指標

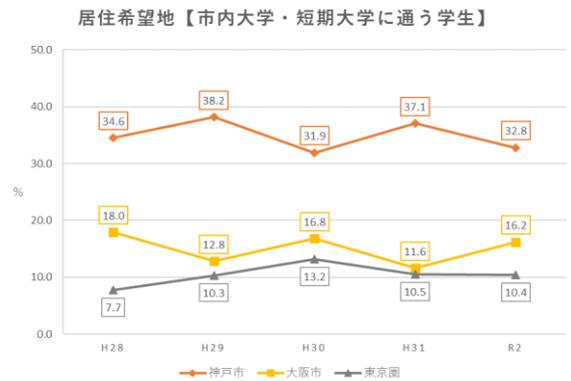
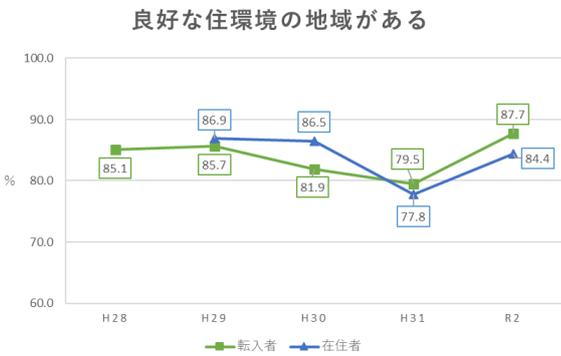
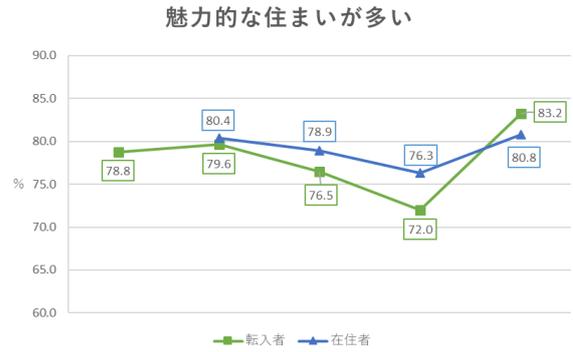
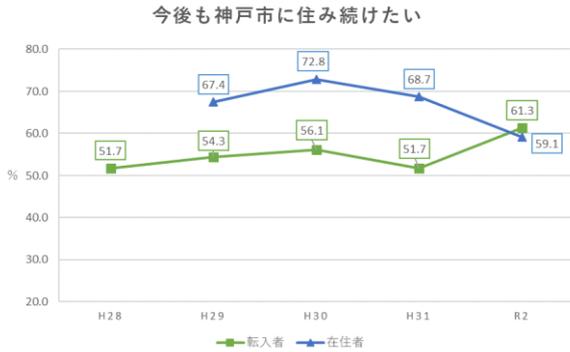
民間の調査会社が実施する都市ランキングでは、国内最上位クラスに位置するものもあり、都市イメージや生活環境について高い評価を得ている一方、経済・成長産業や教育・子育てに関するイメージについては課題がある。



(資料) マーサー「2019年世界生活環境調査(QUALITY OF LIVING SURVEY) - 都市ランキング」
ブランド総合研究所「地域ブランド調査2019」
森記念財団 都市戦略研究所「日本の都市特性評価2020」

4. 市民アンケート（在住者、転入者、大学生アンケート）の結果

- ・「今後も神戸市に住み続けたい」と答えた方は、約5割を超えている。
- ・「魅力的な住まいが多い」、「良好な住環境の地域がある」と答えた方は、約8割と高評価を得ている。
- ・神戸市内の大学生のうち居住希望地を「神戸市」と答えた方は、約3割である。

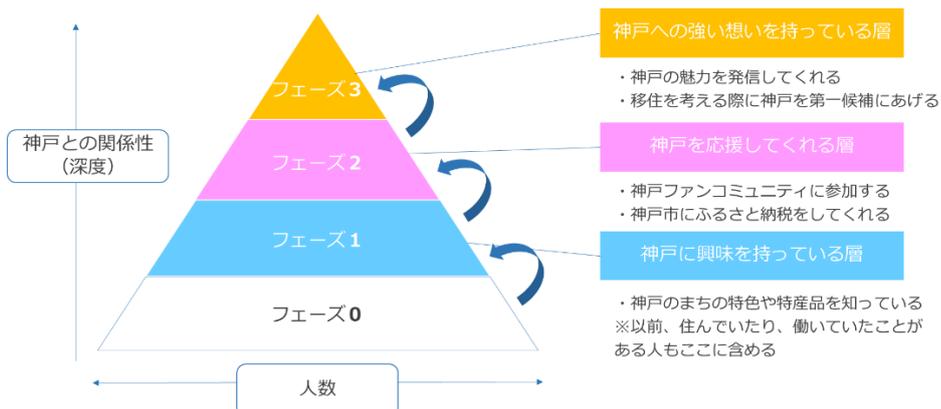


※H28の在住者アンケートは未実施

5. 総評

全体目標の達成は厳しい状況であるが、まちの質・くらしの質を評価する客観的指標や市民アンケートの結果から、都市イメージや生活環境の維持・向上が図れており、これまでの取組みの成果が一定程度現れている。一方で、経済・ビジネスや教育・子育てに関するイメージについては課題があり、さらなる施策の推進やPRに力をいれていくことが重要である。

市民アンケートの結果を見ると、特に転入者からの評価が高いことから、観光や短期的な滞在を通してまずは神戸の魅力を実感し、興味を持ってもらうなど、関係人口の増加に繋げていくことが重要である。また、継続的なアプローチにより「神戸を応援してくれる層」、「神戸への強い思いを持っている層」を増やし段階的に神戸との関係性を深化させていくことで、子育てし、住む場所として若者が選ぶまちを目指していかなければならない。



基本的方向①若者に魅力的なしごとづくり

〈数値目標〉

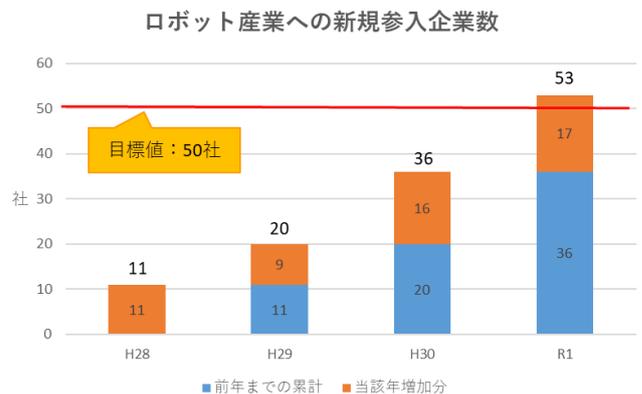
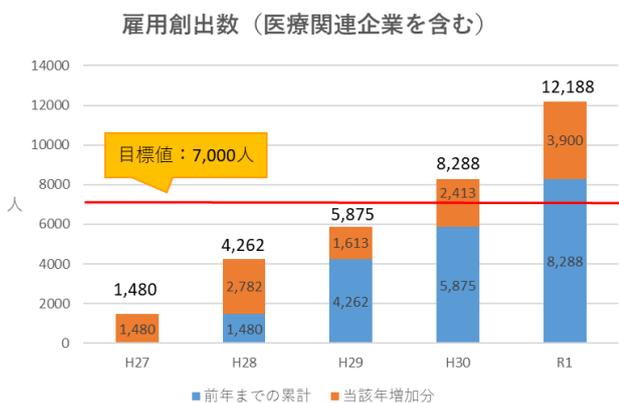
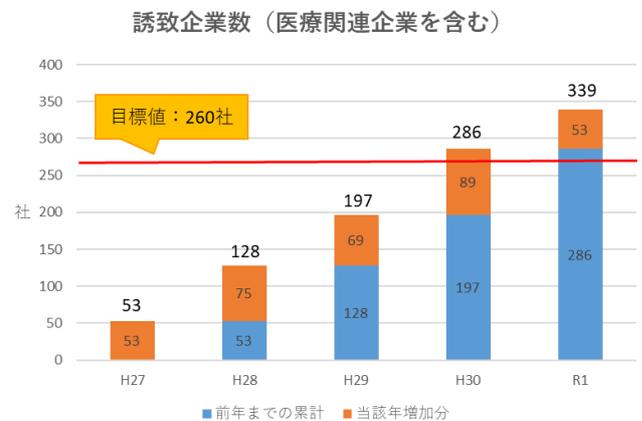
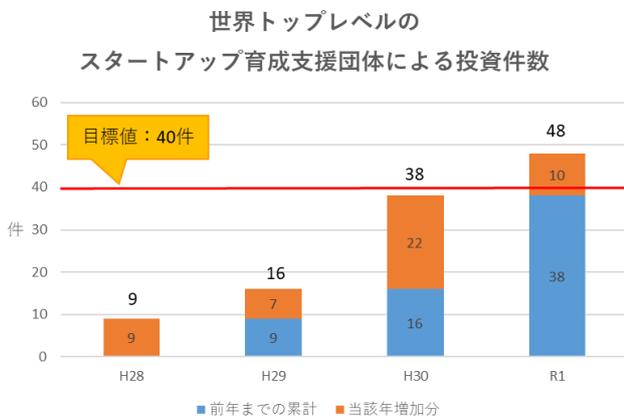
- ・市内就業者数：719,200人を維持
⇒実績：760,200人（平成29年就業構造基本調査）

1. 主な取組み

- ・500 Startups（投資ファンド・起業家育成団体）との連携
- ・国連機関である UNOPS と、グローバル・イノベーション・センター（GIC）を神戸市内に開設する合意書を締結
- ・シリコンバレーやアフリカ・ルワンダへの派遣交流プログラムによる起業家マインドの醸成
- ・神戸医療産業都市への企業・研究機関等の誘致
- ・成長が期待される様々な分野（航空・宇宙産業や ICT、水素産業、ロボット、食など）における新事業開発の支援

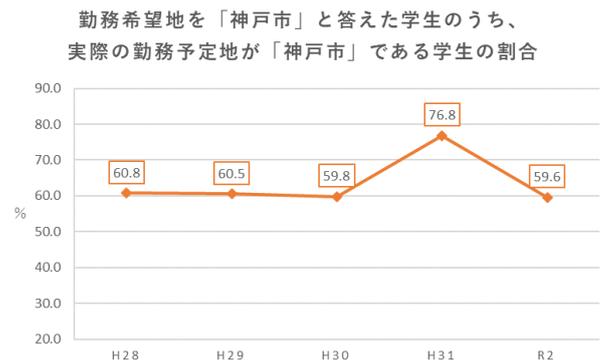
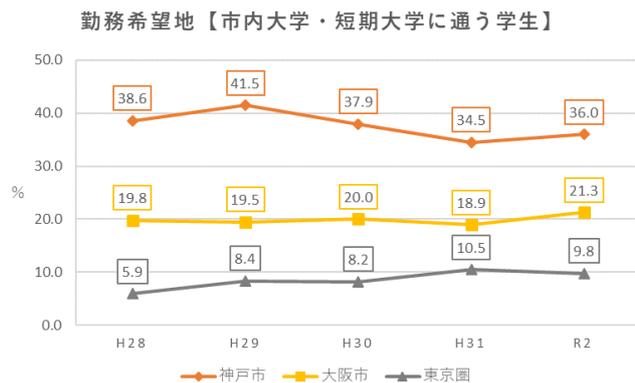
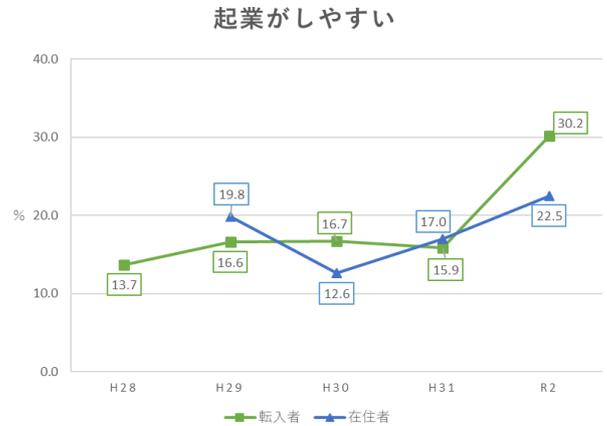
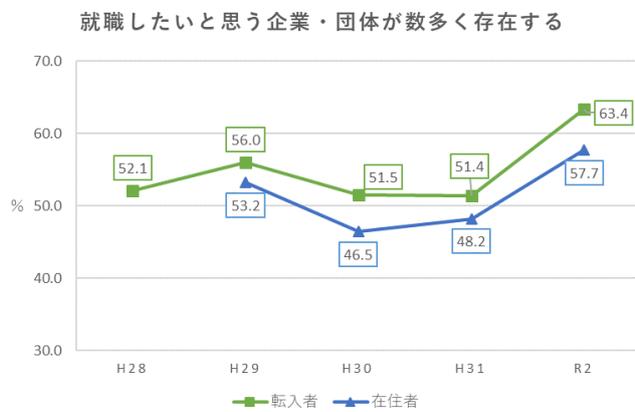
2. 主な KPI 実績

- ・500 Startups との連携等を推進し、投資件数は目標値を超えた。
- ・誘致企業数は5年間で300社以上にのぼり、医療関連企業のほか、様々な企業の集積が進んでいる。
- ・誘致企業数の増加に伴い、雇用創出数も毎年増加傾向である。
- ・ロボット産業への新規参入企業数は、令和元年度に目標値を超えた。



3. 市民アンケート（在住者、転入者、大学生アンケート）の結果

- ・「就職したいと思う企業・団体が数多く存在する」と回答した割合は5割程度から6割程度まで向上した。
- ・「起業がしやすい」と回答する割合は転入者も在住者も増加傾向にある。
- ・神戸市内の大学生は、大阪市、東京都よりも神戸で働きたいと考える人の割合が多い。
- ・希望勤務地を「神戸市」と答えた学生のうち、実際に勤務予定地が「神戸市」の学生の割合は6割程度に留まっている。



※H28の在住者アンケートは未実施

4. 総評

企業誘致などを順調に推進してきた結果、計画策定当初に設定した「市内就業者数719,200人」を大幅に上回った。しかし、アンケートの結果において、希望する勤務地として「神戸市」を選ぶ学生の割合は、約3割で横ばい傾向にあることから、大学が多いという強みを十分に活かしきれていない。また、希望勤務地が「神戸市」と答えた学生のうち、実際の勤務予定地が「神戸市」である学生の割合は6割程度に留まっており、希望する就職先が不足していることが考えられる。一方で、「起業がしやすい」と回答する在住者や転入者の割合は増加傾向にあり、「起業しやすいまち」というイメージはできつつある。大学生などの若者が神戸を働く場所として選ぶことを目指し、スタートアップ支援などを通してこのイメージにさらに磨きをかけるとともに、魅力的なしごとの創出や、情報発信などを進めていくことが重要である。

基本的方向②若者を惹きつける魅力づくり

〈数値目標〉

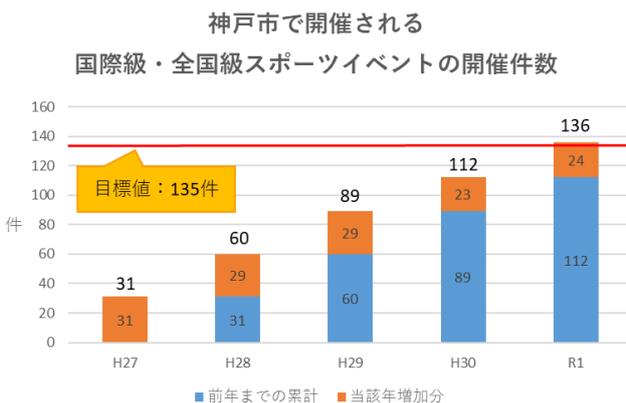
- ・東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）への若年世代の転出超過数の解消
⇒実績：▲2,885人（令和元年）

1. 主な取組み

- ・東京・有楽町「ふるさと回帰支援センター」内に相談ブース設置および専属相談員の配置
- ・WeWork等を活用したテーマ別のトークイベントやPRイベントの実施
- ・移住促進のプロモーション活動の実施
- ・「神戸里山暮らし」の推進
- ・六甲山上スマートシティ構想の推進
- ・三宮周辺地区の「再整備基本構想」の推進
- ・ウォーターフロントの再整備
- ・神戸空港等、市内各所へのストリートピアノの設置

2. 主なKPI実績

- ・観光入込客数は、開港150年記念イベントの開催等により、平成29年に目標値を超えたが、その他の年は目標値の9割程度で推移している。
- ・市内宿泊客数は、目標値の8～9割程度で推移している。
- ・国際級・全国級スポーツイベントの開催件数は、ラグビーワールドカップの開催等、順調に増加し、令和元年度に目標値を超えた。
- ・農村部への移住・起業数は、農村移住コーディネーターの配置や空き家改修補助等の支援制度を進めた結果、目標達成には及ばないが増加し続けている。



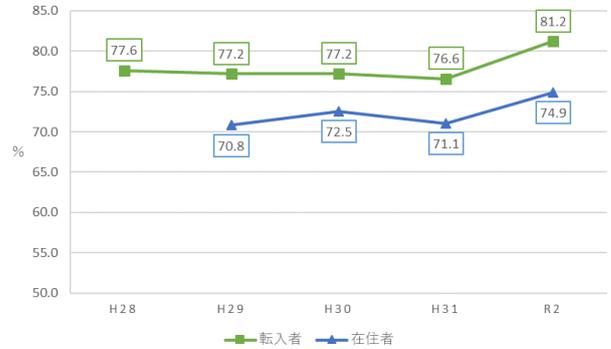
3. 市民アンケート（在住者、転入者、大学生アンケート）の結果

- ・どの項目も肯定的な回答が増加傾向にある。特に「食」に関する評価が高い。
- ・「楽しむ場所として魅力的である」「遊ぶ場所やイベントが充実している」と答えた割合は、在住者、転入者ともに7割以上で推移している。
- ・「スポーツを楽しむ機会が充実している」と答えた方の割合が、5割から6～7割と向上している。

楽しむ場所として魅力的である



遊ぶ場所やイベントが充実している



スポーツを楽しむ機会が充実している



「食」が充実している



※H28の在住者アンケートは未実施

4. 総評

東京圏への転出超過の解消に向け、市内就職促進や東京圏をターゲットとした取組みを進めてきたが、全国的に東京一極集中の流れに歯止めがかかっておらず、「東京圏への若年世帯の転出超過数の解消」の目標達成は難しい状況である。一方で、様々な魅力づくりやその発信に取り組んできた効果が、市民アンケートの結果などに現れている。また、新型コロナウイルス感染症の影響で大規模なイベントの開催などは難しい状況にあるが、農村地域など自然が豊かな場所への関心が高まっている。これらの価値観の変化を見極めながら、多様な自然環境を有する神戸の強みを活かした取組みを進めていく必要がある。

基本的方向③若い世代の結婚・出産・子育て・教育を優先できる社会システムづくり

〈数値目標〉

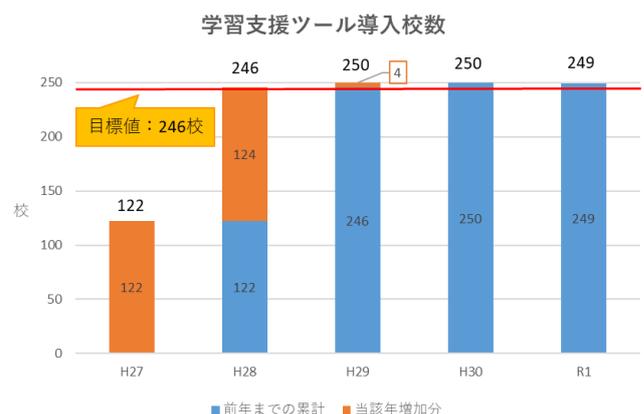
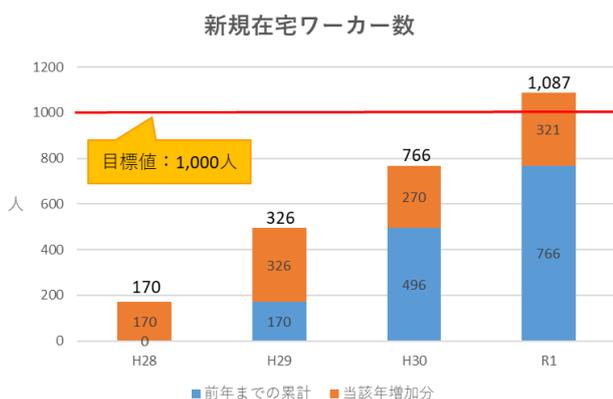
- ・市内出生数（約 12,000 人）の現状維持
⇒実績：10,468 人（令和元年）
- ・保育所等利用待機児童の解消
⇒実績：待機児童数 52 人（令和 2 年 4 月 1 日）

1. 主な取組み

- ・妊婦健康診査に対する公費助成や産後ケア事業の実施
- ・KOBE 子育て応援団「ママフレ」の運営
- ・待機児童の解消・学童保育の拡充
- ・学習支援ツールの全義務教育学校等への導入
- ・企業の働き方改革推進支援や、女性の就職・再就職支援（企業向けのテレワーク導入支援など）
- ・ひょうご出会いサポートセンターとの連携

2. 主な KPI 実績

- ・保育所等利用待機児童数は一時 300 人を超えた年もあったが、解消に向けて大きく減少している。
- ・延長保育実利用人数は全ての年度で目標値を超えている。
- ・新規在宅ワーカー数は、在宅ワークセミナー等を実施し、目標値を超えた。
- ・インターネットを活用した学習支援ツールは、全小・中・義務教育・特別支援学校への導入が完了。



3. 市民アンケート（在住者、転入者、大学生アンケート）の結果

- ・どの項目も肯定的な回答が増加傾向にあるものの、5～6割程度に留まっている。
- ・「結婚の希望がかなうまちである」と答えた方の割合は、4割から5～6割程度と改善している。

結婚の希望がかなうまちである



出産の希望がかなうまちである



子育て環境がよいまちである



教育環境がよいまちである



※H28の在住者アンケートは未実施

4. 総評

全国的な20代～30代の若年人口の減少や晩産化、合計特殊出生率の減少により、「市内出生数12,000人の維持」という目標は達成が難しい状況にある。待機児童の解消や学童保育の拡充、国際教育といった特色ある教育など、様々な取組みを着実に実施してきたが、アンケートの結果を見ると、市民にこれらの情報が十分に届いておらず、情報発信が課題となっている。今後、さらに結婚・出産・子育て・教育環境を充実させていくとともに、戦略的なPRが必要である。

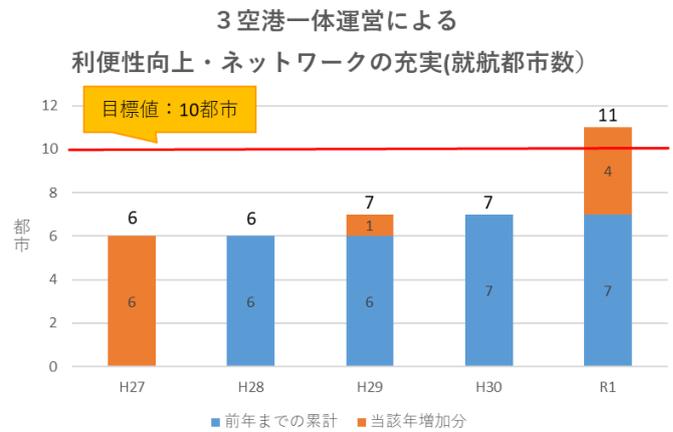
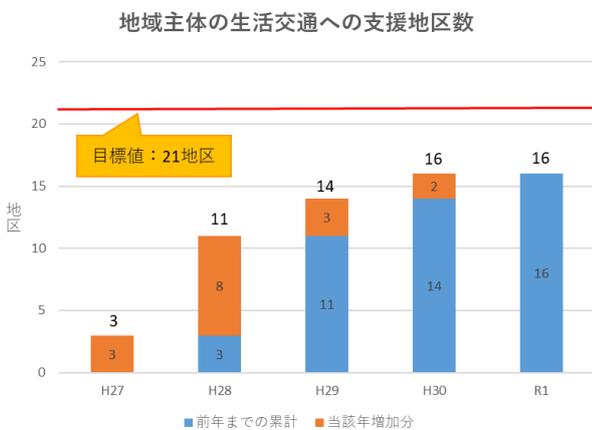
基本的方向④次世代の将来を約束できる環境づくり

1. 主な取組み

- ・北神急行線の市営化に伴う運賃の大幅値下げ
- ・神戸空港の発着便・就航都市の増加が実現
- ・港勢拡大に向けた、高規格コンテナターミナルの整備や国際フィーダー網の充実
- ・公民連携での水素エネルギー利活用拡大の取組みの推進

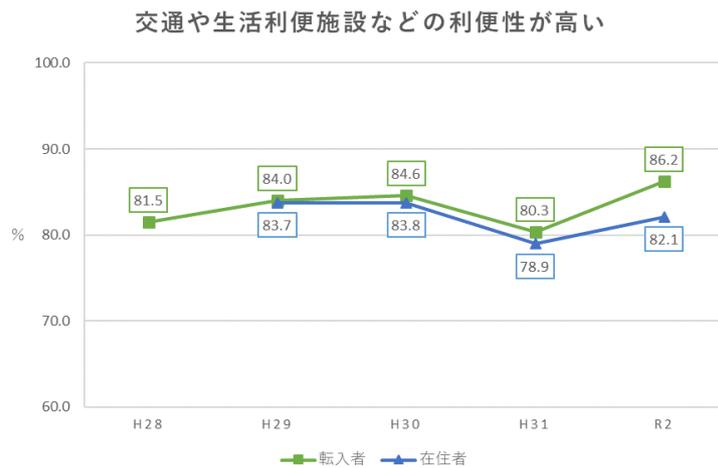
2. 主な KPI 実績

- ・地域主体の生活交通への支援地区数は、増加傾向にはあるが、目標達成には至っていない。
- ・神戸空港の機能拡充・向上への取組みを進め、令和元年度に就航都市数の目標値を超えた。



3. 市民アンケート（在住者、転入者、大学生アンケート）の結果

- ・在住者、転入者ともに概ね 8 割以上が交通や生活利便施設などの利便性が高いと回答している。



※H28 の在住者アンケートは未実施

4. 総評

北神急行の運賃値下げや、神戸空港の機能拡充等、交通利便性の向上につながる施策に取り組んできた。市民アンケートの結果も概ね高評価となっている。今後もインフラ整備を進め利便性向上を図りつつ、水素エネルギーの利用拡大など、将来にわたり持続可能な環境を目指した挑戦的な取組みが必要である。

基本的方向⑤安心なくらしづくり

〈数値目標〉

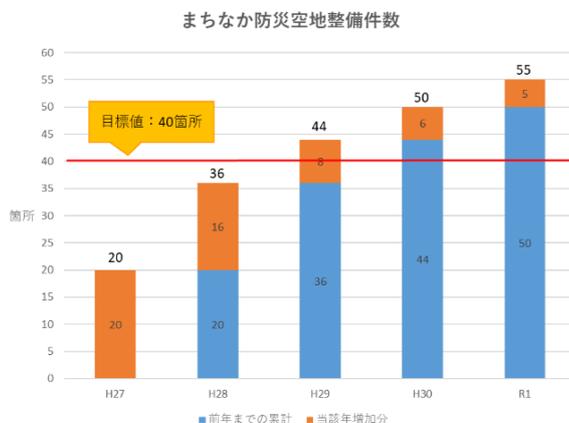
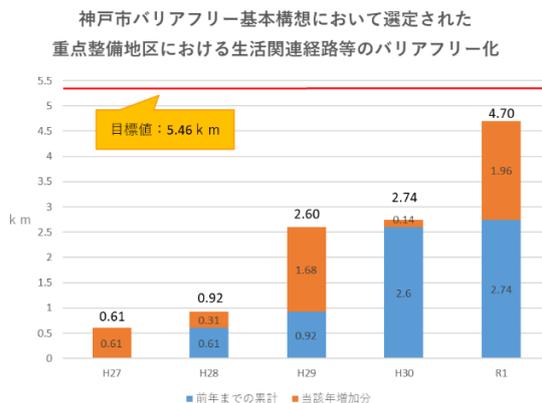
- ・ 地区防災計画策定数：36 地区
⇒実績：108 地区（令和元年度）

1. 主な取組み

- ・ まちなか街灯と防犯カメラの増設
- ・ 総合的な防災対策と神戸における国土強靱化の推進
- ・ 南海トラフ巨大地震発生時に想定される千年に1度の「レベル2」津波に備えた防潮堤の補強
- ・ 後期高齢者の増加に対応した地域福祉の充実への取組み
（健康管理アプリ「MY CONDITION KOBE」、認知症「神戸モデル」など）
- ・ 公共空間のバリアフリー化推進

2. 主なKPI実績

- ・ 浸水被害が予想される河川についての改修を順次進めている。
- ・ 生活関連経路等のバリアフリー化は目標達成には至っていないが、優先順位をつけ着実に整備している。
- ・ 災害時の延焼防止、避難可能なまちづくりのためにまちなか防災空地整備を進め、目標値を超えている。



3. 総評

自然災害などあらゆるリスクに対して、高齢者や障がい者など誰もが安心してくらしできるように、総合的な防災対策など、ハード・ソフト両面で取組みを進めてきた。認知症「神戸モデル」など、先駆的な施策も実施しており、高齢化が進む中、市民の安心なくらしづくりをより一層進めていくことが重要である。

基本的方向⑥地域と地域の連携づくり

〈数値目標〉

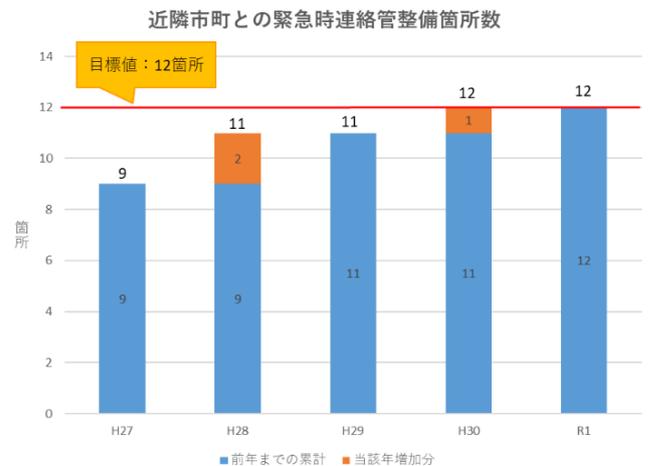
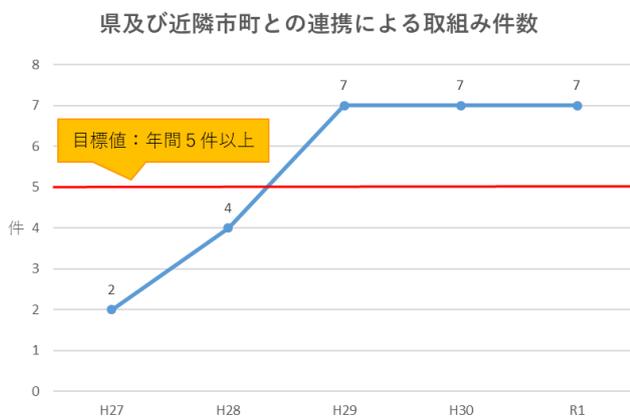
- ・ 県及び近隣市町との連携による取組み件数：5件以上
⇒実績：7件（令和元年度）

1. 主な取組み

- ・ 地域におけるコミュニティ活動を通じた地域課題解決の支援
- ・ 区役所における総合窓口のさらなる展開（東灘区、長田区、北区、垂水区、須磨区、北須磨支所、北神区役所、兵庫区、灘区）
- ・ 新たな区役所庁舎の建設に向けた動きの進展（兵庫区、北区は完成済み）
- ・ 電子申請の対象業務を拡大
- ・ 周辺自治体との連携の推進（連携協定の締結、水道の安定供給に向けた取組みなど）
- ・ 兵庫県との合同庁舎の開設（新長田）

2. 主なKPI実績

- ・ 県と近隣市町との連携による取組み件数は、目標値を超えている。
- ・ 近隣市町と水を融通できる、緊急時連絡管の整備については、平成30年度時点で目標値を超えている。
※緊急時連絡管：近隣市町との間に水を融通できる水道管設備



3. 総評

新長田合同庁舎の供用開始や新たな連携協定の締結など、県や近隣市町との連携を推進するとともに、兵庫区、北区の新庁舎の完成や総合窓口の展開など、市民サービスの向上や地域ニーズへのきめ細やかな対応を行ってきた。今後も地域課題解決や神戸を中心とした圏域の発展を目指して、連携を進めるとともに、地域コミュニティのさらなる活性化に取り組んでいくべきである。

(参考資料) 神戸 2020 ビジョン総括検証データ集

基本的方向① 若者に魅力的なしごとづくり

〈数値目標〉

KPI	KPI数値目標	調査周期	H24	・・・	H29	・・・	R1	達成度
市内就業者数	719,200人を維持	5年	719,200人	・・・	760,200人	・・・	—	○

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=—

(1) 革新を生み出す新たな起業・創業、新事業創出支援の展開

○主な取組み

- ・ 500 Startups（投資ファンド・起業家育成団体）との連携
- ・ 国連機関である UNOPS と、グローバル・イノベーション・センター（GIC）を神戸市内に開設する合意書を締結
- ・ 「アーバンイノベーション神戸」の実施開始と他都市への水平展開
- ・ シリコンバレーやアフリカ・ルワンダへの派遣交流プログラムによる起業家マインドの醸成

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①「神戸スタートアップオフィス」の本格展開	短期重点支援プログラムに対する投資家からの資金投入件数、資金投入額	資金投入件数：30件【累積】 資金投入金額：10億円【累積】	毎年度	計画期間 対象外	4件 130,000千円	16件 570,000千円	29件 672,600千円	29件 990,300千円	○
②世界トップレベルのスタートアップ育成支援団体神戸への誘致及び連携	世界トップレベルのスタートアップ育成支援団体による投資件数	40件【累積】	毎年度	計画期間 対象外	9件	16件	38件	48件	○
③新事業創発プログラムの実施	新事業創発プログラムによる事業創出件数	10件【累積】	毎年度	計画期間 対象外	1件	1件	1件	7件	△
④知的財産の活用・産業化	(公財)新産業創造研究機構による知財活用支援による製品化・事業化件数	60件【累積】	毎年度	9件	15件	24件	37件	48件	○
⑤スタートアップ支援への「ふるさと納税」の活用	スタートアップのための成長資金	4000万円【累積】	毎年度	計画期間 対象外	779,564円	1,013,789円	37,757,564円	40,301,564円	○
⑥人材交流型新事業創造プラットフォームの創設	新事業創造プラットフォームによる新事業の展開、新規企業の年間立ち上げ件数	100件【累積】	毎年度	計画期間 対象外	13件	38件	77件	153件	○

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=—

○達成が困難な事業（△、×の事業）の今後の方向性

- ③ KPIの達成に向けて、これまでテーマを決め、セミナーやワークショップを通して、新たな産業の創出や第二創業の促進に取り組んできたが、今後はセミナーを中心とした単発の方式を見直し、ターゲットの明確化や継続的なハンズオン支援を組み込むなど、より効果的な事業となるよう検討を進めていきたい。

基本的方向① 若者に魅力的なしごとづくり

(2) 成長産業の企業誘致等の促進

○主な取組み

- ・ 神戸医療産業都市推進機構の発足
- ・ 神戸アイセンターの開設
- ・ スーパーコンピュータ「京」および後継機の「富岳」を中核とした、研究教育拠点(COE)の形成に向けた研究開発の支援
- ・ 水素サプライチェーン構築実証事業における、液化水素荷揚・積荷基地の立地に向けた港湾施設の整備
- ・ 神戸空港の発着便・就航都市の増加が実現
- ・ 高規格コンテナターミナルの整備や、西日本諸港からのフィーダー貨物の集貨等の実施

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①神戸医療産業都市の推進	ア)誘致企業数 (医療関連企業を含む) イ)雇用創出数 (医療関連企業を含む)	ア)260社 イ)7,000人	毎年度	ア)53社 イ)1,480人	ア)128社 イ)4,262人	ア)197社 イ)5,875人	ア)286社 イ)8,288人	ア)339社 イ)12,188人	ア)○ イ)○
②雇用の場を生み出す企業誘致の推進	ア)誘致企業数 (医療関連企業を含む) イ)雇用創出数 (医療関連企業を含む)	ア)260社 イ)7,000人	毎年度	ア)53社 イ)1,480人	ア)128社 イ)4,262人	ア)197社 イ)5,875人	ア)286社 イ)8,288人	ア)339社 イ)12,188人	ア)○ イ)○
③阪神港国際コンテナ戦略港湾のさらなる推進と、多様な貨物輸送の強化を通じた神戸港の港勢拡大	阪神港の国際基幹航路等の便数 (北米・欧州など)	ア)欧州基幹航路：週3便 イ)北米基幹航路：デイリー化 ウ)南米等航路：新規航路開設	毎年度	ア)週2便 イ)6曜日寄港 ウ)未開拓	ア)週1便 イ)6曜日寄港 ウ)アフリカ航路、インド航路開拓	ア)週1便 イ)週5便4曜日寄港 ウ)アフリカ航路(平成28年度開設)	ア)欧州基幹航路 週1便 イ)北米基幹航路 週5便 2曜日寄港 ウ)アフリカ航路(平成28年度開設)	ア)欧州基幹航路 週1便 イ)北米基幹航路 週5便 2曜日寄港 ウ)アフリカ航路(平成28年度開設)	ア)× イ)× ウ)○
④神戸空港の機能充実	3空港一体運営による利便性向上・ネットワークの充実(就航都市数)	10都市【累積】	毎年度	6都市	6都市	7都市	7都市	11都市	○
⑤神戸空港島の戦略産業企業の集積・にぎわいの創出	航空・宇宙関連企業及び集客・にぎわい施設の誘致件数	5件【累積】	毎年度	2件	3件	5件	8件	10件	○

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

○達成が困難な事業(△、×の事業)の今後の方向性

- ③ 令和元年度は、米中貿易摩擦の激化や中国の経済成長鈍化等の影響を受け、神戸港のコンテナ貨物取扱個数は287万TEUと前年度から減少となった。このような状況の中、神戸港の港勢拡大を図るため、西日本諸港からの集貨や北米-東南アジア間等のトランシップ貨物の誘致を引き続き行う。

これらの取組みにより、国の政策目標である、欧州・北米航路をはじめ、中南米・アフリカ等、多方面・多頻度の直航サービスの充実を目指し、グローバルに展開する我が国立地企業のサプライチェーンの維持に向けた神戸港の機能強化の取組みを進める。

基本的方向① 若者に魅力的なしごとづくり

(3) 次代の基幹産業の育成・振興①

○主な取組み

- ・ 成長が期待される様々な分野（航空・宇宙産業やICT、水素産業、ロボット、食など）における新事業開発支援
- ・ 地元中小企業に対する水素関連産業の技術者育成補助、試作品・新製品の開発補助等の実施
- ・ IoT・AI・ロボット導入相談窓口を公益財団法人新産業創造研究機構（NIRO）に開設
- ・ アフリカなど成長市場との経済交流

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①航空・宇宙産業の育成	ア)神戸市の航空機関連の製造品出荷額 イ)市内中小企業に対する航空・宇宙分野の新規参入・受注拡大支援企業数	ア)1,150億円 イ)50社【累積】	毎年	ア)- イ)23社	ア)629億円 (H26) イ)27社	ア)729億円 (H27) イ)27社	ア)861億円 (H28) イ)30社	ア)999億円 (H29) イ)34社	ア)○ イ)△
②水素産業の育成	大手企業等との共同開発や部材提供等による水素産業参入企業数	30社【累積】	毎年度	5社	11社	13社	16社	19社	△
③ロボット産業都市の推進	ア)ロボット産業への新規参入企業数 イ)サービスロボットの製品化件数	ア)50社【累積】 イ)35件【累積】	毎年度	計画期間 対象外	ア)11社 イ)13件	ア)20社 イ)15件	ア)36社 イ)16件	ア)53社 イ)19件	ア)○ イ)△
④IT・データを活用した施策の推進	オープンデータ公開件数	100件	毎年度	43件	145件	149件	149件	164件	○
⑤アフリカなど成長市場との経済交流	アフリカ市場におけるビジネス創出件数	10件【累積】	毎年度	なし	2件	2件	7件	7件	△

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

○達成が困難な事業（△、×の事業）の今後の方向性

- ①イ)製造品出荷額・企業数とも着実に増加してきたが、すでに完成品メーカーが生産調整を実施しており達成は困難。10月に開催される「エンジンフォーラム神戸」の活用や航空機分野の海外展開支援ほか地元中小企業を積極的に支援し、基幹産業へと育成すべく息の長い支援を継続する。
- ② 企業数は着実に増加しているものの、発展途上にある水素産業では、大手メーカーは実績のある企業の製品を採用し、また水素製品の開発、事業化に長時間を要しており達成は困難。大手メーカーへの納入の道筋となる事業計画書の策定等を中心とした伴走型の支援、開発補助制度の拡充の検討、講演会や見学会を主とする勉強会への企業参加の働きかけなど、参入促進に向けた息の長い支援を継続していく。
- ③イ)ロボット導入による利点は日頃の啓発活動で、市内企業にも根付いてきており、ロボット産業への新規参入企業数の増加に結びついている。今後は、サービスロボット分野での更なる注力が必要になる。
- ⑤ 将来性のある市場について注目は高いものの、実際の投資行動に結びつけるには、時間を要する。経済交流の真の効果は長期的に表れるものであり、毎年度ごとの評価では捉えきれない部分が多いため、引き続きビジネスセミナー等の取組を継続的に実施する。

基本的方向① 若者に魅力的なしごとづくり

(4) 次代の基幹産業の育成・振興②

○主な取組み

- ・ 「EAT LOCAL KOBE」ウェブサイトや SNS、リーフレットを活用した情報発信
- ・ 「食都神戸」海外展開促進協議会の設立と、神戸産農水産物と加工品のプロモーションと輸出促進
- ・ 最先端農業 ICT 技術の導入実証事業などのプロジェクト実施

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①「食都 神戸2020」構想のさらなる推進	ア)ファーマーズマーケット年間開催回数・来場者数 イ)農水産物輸出品目数	ア)50回、50,000人 イ)20品目	毎年度	ア)開催回数9回 来場者数4,500人 イ)3品目	ア)開催回数40回 来場者数34,000人 イ)8品目	ア)開催回数40回 来場者数36,000人 イ)商流6品目 テストマーケティング23品目	ア)開催回数42回 来場者数32,000人 イ)通常販売21品目	ア)開催回数40回 来場者数26,000人 イ)20品目	ア)△ イ)○
②新たな農業関連産業の創出	農業へのICT導入人数	200人【累積】	毎年度	12人	13人	24人	36人	116人	△
③新たな「道の駅」の整備・活用	新たな「道の駅」の年間来場者数	200,000人	毎年度	計画期間対象外	12,581人	1,504,524人	1,257,846人	1,273,632人	○

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=ー

○達成が困難な事業（△、×の事業）の今後の方向性

- ① 令和元年度は、台風などの天候の影響もあり開催できない日程もあり、2月以降に予定していたマーケットも新型コロナウイルス感染症の影響により中止となるなど、開催回数を増やすことができなかった。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の状況をみながら再開を検討し、他地域でのファーマーズマーケット拡大にも引き続き取り組む。

香港におけるデモの拡大や新型コロナウイルス感染症の影響により、最も大きな輸出先である香港・マカオへのワイン等の輸出が減少した。令和2年度は、加工品など輸出に適したアイテムを増やすことに力を入れ、新型コロナウイルス感染症等の状況をみながらPRを行っていく。

- ② 新たな担い手への初期設備・機械の導入支援により ICT 技術を活用した機器を利用する生産者を増やすとともに、JA が設置した ICT を導入した大型ハウスを活用して新たな担い手を育成する。また、ICT 技術を活用して生産した花き・野菜の苗の利用を促す。

基本的方向① 若者に魅力的なしごとづくり

(5) 神戸の中小企業・商業事業者等の競争力強化

○主な取組み

- ・ 民間事業者との連携により、シンガポールとドイツ（ハンブルク）に「神戸市海外ビジネスコーディネーター」を配置、ビジネス交流促進
- ・ 海外現地商談会の開催
- ・ 市内商店街・小売市場の空き店舗情報に特化した不動産情報サイトの運営

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①中小企業等の海外展開促進支援の実施	海外展示会等出展数	150社【累積】	毎年度	12社	60社	121社	173社	218社	○
②産学金官の連携による競争力強化支援の実施	神戸リエゾン・ラボ（ものづくり工場内）活用による新規開発件数	50件【累積】	毎年度	13件	27件	38件	48件	57件	○
③商店街・小売市場の空き店舗への挑戦	空き店舗年間解消件数	60件	毎年度	19件	39件	60件	67件	38件	△

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

○達成が困難な事業（△、×の事業）の今後の方向性

- ③ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で空き店舗が増加しており、今後の経済状況を見据えながら、空き店舗の実情を把握していくとともに、既存の制度を活用しながら、引き続き空き店舗対策に取り組んでいく。

(6) 人材の確保・育成

○主な取組み

- ・ 交流拠点「Co-STUDY KOBE」の試行実施
- ・ 地元企業向けに外国人留学生等を対象とした合同企業就職説明会の開催
- ・ 工業高校・高専と連携し、若年中途退職者と中小製造業とのマッチングの実施

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①大学等の集積を活かした人材の育成・定着	学生・教職員に対する市内就職の意識啓発、市内企業とのマッチング等の年間実施件数	8件	毎年度	10件	5件	8件	10件	11件	○
②グローバル人材の集積・育成	就労目的の在留資格を持つ外国人の数	5,000人	毎年度	4,436人	4,910人	5,340人	5,447人	6,495人	○
③ものづくり人財確保・育成支援事業	中小製造業と若年者との年間マッチング件数	100件	毎年度	なし	16件	34件	61件	57件	△
④航空・医療・ロボット分野における新たな教育プログラムの実施	神戸市立工業高等専門学校における新たな教育プログラムの設置件数	3件【累積】	毎年度	計画期間対象外	計画期間対象外	3コース	3コース	3コース	○

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

○達成が困難な事業（△、×の事業）の今後の方向性

- ③ 「KOBE 無料職業紹介所（はたらこうべ）」の開所以来、個別丁寧なマッチングを実施してきたが、企業からの求人（製造・加工処理）登録が多い一方、求人にマッチしない求職（一般事務）申込が多い状態が続いており、事業のあり方を検討していきたい。

基本的方向② 若者を惹きつける魅力づくり

〈数値目標〉

KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）への若年世代の転出超過数の解消	年間2,500人を解消	毎年	2,422人	2,411人	2,825人	2,972人	2,885人	×

達成度：KPI数値目標の80%以上＝○ 50%以上80%未満＝△ 50%未満＝× 測定不能＝－

（１） 移住・定住の促進

○主な取組み

- ・ 東京・有楽町「ふるさと回帰支援センター」内に相談ブース設置および専属相談員の配置
- ・ WeWork等を活用したテーマ別のトークイベントやPRイベントの実施
- ・ ファミリー層をターゲットとした新たな情報発信ツールの開発・情報発信
- ・ 移住促進のプロモーション活動の実施
- ・ 不動産関連会社と連携した集中的プロモーション
- ・ 東京からの移住促進事業（わくわく地方生活実現政策パッケージ）
- ・ 神戸版地域おこし協力隊

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①移住促進に向けた都市プロモーションの展開	東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）への若年世代の転出超過数の解消	年間2,500人を解消	毎年	2,422人	2,411人	2,825人	2,972人	2,885人	×
②「神戸のライフスタイル」魅力の見える化・発信	ア)市内宿泊客数 イ)外国人観光客数 ウ)観光入込客数 エ)観光消費額	ア)590万人 イ)130万人 ウ)3,900万人 エ)3,700億円	毎年	ア)529万人 イ)107.9万人 ウ)3,598万人 エ)3,686億円	ア)506人 イ)124万人 ウ)3,500万人 エ)3,182億円	ア)536人 イ)134万人 ウ)3,933万人 エ)3,442億円	ア)451万人 イ)141万人 ウ)3,538万人 エ)3,471億人	ア)477万人 イ)139万人 ウ)3,542万人 エ)3,272億円	ア)○ イ)○ ウ)○ エ)○
③神戸地場産業のプロモーション	「MADE IN KOBE」プロダクト（コラボ商品）の商品化件数	20件	毎年度	計画期間対象外	24件	24件	24件	24件	○

達成度：KPI数値目標の80%以上＝○ 50%以上80%未満＝△ 50%未満＝× 測定不能＝－

○達成が困難な事業（△、×の事業）の今後の方向性

- ① 移住に向けたプロモーションの効果は、短期的な取組みによって表れるものではなく、観光や短期的な滞在を通してまずは神戸の魅力を実感し、興味を持ってもらうなど、関係人口の増加に繋げていくことが重要である。また、継続的なアプローチにより「神戸を応援してくれる層」、「神戸への強い思いを持っている層」を増やし段階的に神戸との関係性を深化させていくことで、中長期的に移住に繋げていきたい。
- さらに東京圏では、移住先を限定せず漠然と地方移住を希望する層も増えており、ふるさと回帰支援センターに配置している相談員を中心に神戸を移住先の候補として選んでもらえるよう、積極的にアプローチをしていく。

（２） 大学等の活性化

○主な取組み

- ・ 国・県・経済団体等関係機関のネットワークを構築し、連携協力して神戸市域において就業支援を実施

基本的方向② 若者を惹きつける魅力づくり

(3) 都心・三宮の再整備

○主な取組み

- ・ 「えきまち空間」の実現に向けた、景観デザインコードの検討
- ・ 「三宮クロススクエア」交通社会実験の実施

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①三宮周辺地区の『再整備基本構想』の推進	三宮駅周辺ビル再建等検討件数	5件	毎年度	5件	5件	5件	5件	5件	○
②夜間景観を活かした新たな魅力づくり	フラワーロード光のミュージアム整備延長	1.4km【累積】	毎年度	0.22km	0.4km	0.7km	1.17km	実施計画に基づき、令和元年度は未実施	○
③魅力的な公共空間の創出	都心部における公共空間のリデザイン実施延長	延長3km【累積】	毎年度	0km	0.13km	0.26km	0.26km	0.30km	×

達成度：KPI数値目標の80%以上＝○ 50%以上80%未満＝△ 50%未満＝× 測定不能＝-

○達成が困難な事業（△、×の事業）の今後の方向性

- ③ 道路整備に対するニーズの多様化により、都心部の公共空間のリデザインについて、当初想定より進捗が遅れているが、継続的に整備している葺合南54号線については、引き続き整備を進めていく。

基本的方向② 若者を惹きつける魅力づくり

(4) 開港 150 年・ウォーターフロントの再整備

○主な取組み

- ・ 兵庫運河（大輪田水門）のライトアップ
- ・ 須磨海岸の再整備
- ・ 神戸港福利厚生施設神戸ポートオアシスの供用開始
- ・ 新港第 1 突堤基部の再開発に引き続き、次期再開発の事業化に向けた取組みの推進

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①市民と港湾関係者が集い交流する施設の整備	市民と港湾関係者の交流施設（「神戸港福利厚生施設神戸ポートオアシス」多目的ホール）の利用率	50%	毎年度	-	-	平成29年7月供用開始のため平成30年度以降算出	30.4%	32.5%	△
②メリケンパークの再整備	観光入込客数（神戸港）	450万人	毎年	428万人	338万人	801万人	487万人	536万人	○
③須磨海岸エリアの再整備	ア)須磨海岸年間来場者数 イ)須磨海岸の健全度の向上（ファミリー向けイベント年間開催件数）	ア)100万人 イ)100件	毎年度	ア)85万人 イ)79件	ア)80万人 イ)84件	ア)80万人 イ)84件	ア)62万人 イ)79件	ア)42万人 イ)84件	ア)× イ)○
④夜間景観の演出	神戸港の夜間景観演出エリアの拡大件数	10エリア	毎年度	5エリア	6エリア	8エリア	8エリア	9エリア	○

達成度：KPI数値目標の 80%以上 = ○ 50%以上80%未満 = △ 50%未満 = × 測定不能 = -

○達成が困難な事業（△、×の事業）の今後の方向性

- ① 施設の管理運営については適正に実施されており、平成 29 年 7 月の開設以来、ホール・会議室とも利用率が着実に向上し、満足度調査においてもおおむね良好な結果である。しかし、利用率が 30%を超えてからは伸びが鈍化しており、新規来場者の割合が減少している。今後の利用率向上のため、積極的に会議・イベント等の誘致に努め、また、情報を頻繁に発信すること等により認知度を上げ、施設利用の向上につなげていく。
- ③ア)レジャーの多様化や異常気象等による海離れが進んだことなどにより、KPI 達成には至らなかった。今後は、平成 31 年度に初めて取得した安心・安全なビーチの国際環境認証であるブルーフラッグをはじめ、来場者数やイベントの実施数といった定量目標にとらわれることなく、海岸利用者の安心・安全にも力を入れ、家族連れが四季を問わず、訪れる海岸にしていきたい。

基本的方向② 若者を惹きつける魅力づくり

(5) 新長田地区の活性化

○主な取組み

- ・ 新長田合同庁舎の施工、完成
- ・ くにづかりポーンプロジェクトの推進
- ・ 「地下鉄海岸線中学生以下無料化社会実験」の実施

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①新長田駅南再開発エリアへの兵庫県・神戸市関係機関の共同移転	ア)新長田駅南再開発エリアの夜間人口	ア)6,100人 イ)4,500人	ア)毎年度 イ)5年	ア)5,834人 イ)-(1,203人)	ア)5,852人 イ)3,271人 (1,234人)	ア)6,017人 イ)-(1,282人)	ア)6,011人 イ)-(1,313人)	ア)6,036人 イ)-(-)	ア)○ イ)-
	イ)新長田駅南再開発エリアの昼間人口 (地下鉄駒ヶ林駅の一日平均乗降者数)								
②くにづかりポーンプロジェクトの推進	ア)新長田駅南再開発エリアの夜間人口	ア)6,100人 イ)4,500人	ア)毎年度 イ)5年	ア)5,834人 イ)-(1,203人)	ア)5,852人 イ)3,271人 (1,234人)	ア)6,017人 イ)-(1,282人)	ア)6,011人 イ)-(1,313人)	ア)6,036人 イ)-(-)	ア)○ イ)-
	イ)新長田駅南再開発エリアの昼間人口 (地下鉄駒ヶ林駅の一日平均乗降者数)								

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

(6) 「神戸里山暮らし」の推進

○主な取組み

- ・ 就農・移住希望者へ神戸の農業・農村地域の情報発信
- ・ 移住希望者と農村地域とをつなぐ農村定住促進コーディネーターの配置
- ・ 空き家バンクの運営、空き家改修の補助など、定住促進に向けた取組みの実施
- ・ 神戸 里山・農村地域活性化ビジョンの推進

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①「神戸里山暮らし」の推進	ア)新規就農者数	ア)250人【累積】	毎年度	ア)54人	ア)99人	ア)138人	ア)171人	ア)202人	ア)○
	イ)農村部への移住・起業数	イ)100件【累積】		イ)11件	イ)32件	イ)43件	イ)60件	イ)77件	イ)△

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

○達成が困難な事業(△、×の事業)の今後の方向性

- ①イ)農村地域に活用できる空き家情報が不足していることから、ホームページやガイドブックによる情報発信、自治会からの情報収集、空き家改修の補助拡充など、定住促進につながる取組みを強化する。

基本的方向② 若者を惹きつける魅力づくり

(7) 六甲山の魅力化促進

○主な取組み

- ・ 再度公園や摩耶山自然観察園の改修、山麓電飾の灯具更新
- ・ 県市共同の「六甲山賑わい創出事業」を実施
- ・ 六甲山上スマートシティ構想の推進

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①六甲・摩耶観光の振興	六甲・摩耶の観光入込客数	230万人	毎年	201万人	204万人	208万人	187万人	191万人	○

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

(8) 神戸ブランドを牽引する魅力あふれるまちづくり

○主な取組み

- ・ 歴史的建築物等の保全活用に向けた景観形成重要建築物等の指定
- ・ 他の港と差別化できる優位性をPRし、クルーズ船の誘致活動を展開
- ・ 山の手住宅地の保全

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①歴史的建築物等の保全活用	歴史的建築物等の保全活用に向けた景観形成重要建築物等の指	5棟【累積】	毎年度	1棟	1棟	1棟	2棟	5棟	○
②クルーズ客船誘致の強化	客船の年間入港隻数	150隻	毎年	97隻	104隻	118隻	141隻	134隻	○

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

基本的方向② 若者を惹きつける魅力づくり

(9) 観光客の誘致

○主な取組み

- ラグビーワールドカップ開催を契機としたプロモーション
- 「BE KOBE モニュメント」の整備や旧居留地のLED化整備の実施
- 公衆無線LAN「KOBE Free Wi-Fi」の整備

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①メディアの複合的な活用による訪日観光・神戸ブランドPRの推進	ア)市内宿泊客数	ア)590万人	毎年	ア)529万人	ア)506人	ア)536人	ア)451万人	ア)477万人	ア)○
	イ)外国人観光客数	イ)130万人		イ)107.9万人	イ)124万人	イ)134万人	イ)141万人	イ)139万人	イ)○
	ウ)観光入込客数	ウ)3,900万人		ウ)3,598万人	ウ)3,500万人	ウ)3,933万人	ウ)3,538万人	ウ)3,542万人	ウ)○
	エ)観光消費額	エ)3,700億円		エ)3,686億円	エ)3,182億円	エ)3,442億円	エ)3,471億円	エ)3,272億円	エ)○
②地域全体の観光マネジメントを一本化するプラットフォームの構築	ア)市内宿泊客数	ア)590万人	毎年	ア)529万人	ア)506人	ア)536人	ア)451万人	ア)477万人	ア)○
	イ)外国人観光客数	イ)130万人		イ)107.9万人	イ)124万人	イ)134万人	イ)141万人	イ)139万人	イ)○
	ウ)観光入込客数	ウ)3,900万人		ウ)3,598万人	ウ)3,500万人	ウ)3,933万人	ウ)3,538万人	ウ)3,542万人	ウ)○
	エ)観光消費額	エ)3,700億円		エ)3,686億円	エ)3,182億円	エ)3,442億円	エ)3,471億円	エ)3,272億円	エ)○
③ICTを活用したおもてなし環境の構築	観光客向け公式スマートフォンアプリ総ダウンロード数	10万ダウンロード	毎年度	23,000DL	41,378DL	60,487DL	73,724DL	利便性向上のため、アプリの配信を停止し、HPやSNSの充実に移行	
⑤MICEの推進	ア)国際会議の開催件数	ア)110件	毎年	ア)113件	ア)361件	ア)405件	ア)419件	ア)調査中	ア)調査中
	イ)中・大規模の国内会議の開催件数	イ)60件		イ)58件	イ)54件	イ)91件	イ)129件	イ)127件	イ)○

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

(10) 芸術・文化、スポーツの振興

○主な取組み

- 新・神戸文化ホールの整備検討
- フルート・ジャズ等のまちなかコンサートの開催
- ラグビーワールドカップ2019神戸開催

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①神戸の文化・芸術の創造発信プロジェクト	まちかどステージ観客数	10,130人	毎年度	9,650人	10,540人	57,945人	17,330人	42,104人	○
②大規模スポーツイベントを通じた魅力の発信	神戸市で開催される国際級・全国級スポーツイベントの開催件数	135件【累積】	毎年度	31件	60件	89件	112件	136件	○

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

基本的方向③ 若い世代の結婚・出産・子育て・教育を優先できる社会システム

〈数値目標〉

KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1
市内出生数の現状維持	12,000人	毎年	12,140人	12,124人	11,565人	10,711人	10,468人

KPI	KPI数値目標	調査周期	H29.4月	H30.4月	H31.4月	R2.4月	達成度
保育所等利用待機児童の解消	待機児童の解消	毎年	93人	332人	217人	52人	※

達成度：KPI数値目標の80%以上＝○ 50%以上80%未満＝△ 50%未満＝× 測定不能＝－

※待機児童の減少数は、全国2位、関西でトップの165人となった。

(1) 妊娠・出産・子育てに切れ目のない支援

○主な取組み

- ・ ひょうご出会いサポートセンターとの連携
- ・ 妊婦健康診査に対する公費助成、産後ケア事業の実施
- ・ 子育て世帯への経済的支援の拡充
- ・ K O B E 子育て応援団「ママフレ」の運営
- ・ 待機児童の解消・学童保育の拡充

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①待機児童の解消	教育・保育施設等の利用定員	26,195人	毎年度	25,545人	26,250人	26,776人	27,269人	28,672人	○
②学童保育の拡充	学童保育で高学年を受け入れている施設の割合（公設） ※高学年（6年生まで）	100%	毎年度	57.5%	53.2%	69.8%	98.90%	98.90%	○
③多様な地域子育て支援事業の推進	ア)延長保育実利用人数 イ)一時預かり利用人数 ウ)ファミリー・サポート・センター週あたりの活動件数	ア)3,725人 イ)967,783人 ウ)554件	毎年度	ア)3,850人 イ)740,334人 ウ)247件	ア)4,208人 イ)836,339人 ウ)275件	ア)4,000人 イ)886,976人 ウ)253件	ア)3,768人 イ)936,377人 ウ)227件	ア)3,870人 イ)1,025,184人 ウ)224件	ア)○ イ)○ ウ)×
④親・子世帯の近居・同居の促進	親・子世帯の近居・同居住み替え助成事業により親・子世帯が近居・同居を行った件数	400件【累積】	毎年度	75件	185件	284件	374件	489件	○
⑤特に援助を必要とする家庭への支援	ア)児童養護施設本体施設への措置・委託児童数の割合 イ)グループホームへの措置・委託児童数の割合 ウ)里親等への措置・委託児童数の割合	ア)71.7% イ)15.8% ウ)12.5%	毎年度	ア)86.0% イ)6.5% ウ)7.5%	ア)85.3% イ)5.8% ウ)8.9%	ア)81.0% イ)9.5% ウ)9.5%	ア)76.7% イ)13.4% ウ)9.9%	ア)75.8% イ)13.0% ウ)11.2%	ア)○ イ)○ ウ)○

達成度：KPI数値目標の80%以上＝○ 50%以上80%未満＝△ 50%未満＝× 測定不能＝－

○達成が困難な事業（△、×の事業）の今後の方向性

- ③ウ)現状、依頼会員の増加率に対して、協力会員の増加率が追いついていない状況にある。今後、マッチングシステムの導入による利便性の向上とともに積極的な広報活動を通じて、協力会員・両方会員の更なる増加を図り、増大するニーズに対応できる制度としていく。

基本的方向③ 若い世代の結婚・出産・子育て・教育を優先できる社会システム

(2) 教育環境の充実

○主な取組み

- ・ 学習支援ツールの全義務教育学校等への導入
- ・ 「チーム学校」の教育力、組織力の強化
- ・ 建築後 30 年以上を経過した改修が必要な学校園施設を中心に大規模な老朽改修を実施。

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①確かな学力の育成	学習支援ツール導入校数	246校	毎年度	122校	246校	250校	250校	249校 ※小学校1校 統合のため の1校減	○
②安全・安心な学校づくり	グラウンド等学校施設の安全性 向上件数	200箇所【累積】	毎年度	計画期間 対象外	90箇所	194箇所	293箇所	374箇所	○
③特別支援教育の推進	ア)特別支援学校に配置する看護師1人あたりの医療的ケア対応 児童生徒数 イ)特別支援学校建設 (新設2校)の進捗管理	ア)5人 イ)100%	毎年度	ア)6.8人 イ)25%	ア)7人 イ)60%	ア)6.1人 イ)60%	ア)5.6人 イ)60%	ア)5.7人 イ)70%	ア)○ イ)△

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

○達成が困難な事業（△、×の事業）の今後の方向性

- ③イ)現在、HAT 神戸で建設中の特別支援学校が令和2年度末に完成し、目標を達成する予定である。

(3) 働き方改革の推進

○主な取組み

- ・ 企業の働き方改革推進支援や、女性の就職・再就職支援（企業向けのテレワークの導入支援など）

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①テレワークの推進	新規在宅ワーカー数	1,000人【累積】	毎年度	計画期間 対象外	170人	496人	766人	1,084人	○
②女性の活躍推進	ネットモニター調査における ワーク・ライフ・バランスの認知度	70%	不定期	-	45.7%	-	-	(38.9%) 「男女共同参 画の意識に関 する調査」	-
③女性の就職・再就職支援	未就労女性支援件数	300件【累積】	毎年度	計画期間 対象外	74件	125件	215件	279件	○

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

○達成が困難な事業（△、×の事業）の今後の方向性

- ② 現在ワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組む事業所を「こうべ男女いきいき事業所」として表彰し、企業や学生に向けて啓発・広報を実施している。既存事業と連携してワーク・ライフ・バランスの認知度の向上につなげていく。

基本的方向④ 次世代の将来を約束できる環境づくり

(1) 公共交通網の充実

○主な取組み

- ・ コミュニティタクシーやコミュニティバスの運行
- ・ 北神急行線の市営化に伴う運賃の大幅値下げ
- ・ 自転車利用環境の整備

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①公共交通を中心とした安全で快適な交通環境の形成	地域主体の生活交通への支援地区数	21地区【累積】	毎年度	3地区	11地区	14地区	16地区	16地区	△

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

○達成が困難な事業（△、×の事業）の今後の方向性

- ① 令和2年度より地域コミュニティ交通の支援制度を拡充し、一定の条件のもと市街地においても補助が受けられるようになったことから、地域コミュニティ交通の導入を要望する地域が増加することが考えられる。引き続き、地域の交通課題の解決を図ろうとしている地域に対し、他事例の紹介や支援制度の活用による適切な需要把握を行うなど、地域コミュニティ交通導入の支援を行っていく。

(2) 陸・海・空の交通基盤の充実

○主な取組み

- ・ 大阪湾岸道路西伸部や神戸西バイパスの着工、料金の対距離制・都心流入割引の導入（阪神高速・第二神明）
- ・ 神戸空港の発着便・就航都市の増加が実現【再掲】
- ・ 高規格コンテナターミナルの整備や、西日本諸港からのフィーダー貨物の集貨等の実施【再掲】

(3) 環境貢献都市の推進

○主な取組み

- ・ 地球温暖化対策のための啓発活動「KOBE COOL CHOICE」実施
- ・ 安定的・効率的なごみ処理システムの確立

(4) 神戸の豊かな自然を守る

○主な取組み

- ・ キーナの森・神戸ゴルフ倶楽部で自然観察会実施
- ・ 生物多様性シンポジウム開催

基本的方向⑤ 安心なくらしづくり

〈数値目標〉

KPI	KPI数値目標	調査周期	H24	・・・	H29	・・・	R1	達成度
地区防災計画策定数	36地区【累積】	毎年度	計画期間 対象外	計画期間 対象外	70地区	86地区	108地区	○

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

(1) 多様な住まいづくり

○主な取組み

- ・ リノベーション神戸の推進
- ・ 「空き家・空き地地域利用バンク」の創設
- ・ ベンチの設置、道路照明灯のLED化

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①計画的開発団地 (ニュータウン)のリノ ベーション	ア)親・子世帯の近居・同居住み 替え助成事業による子世帯の計 画的開発団地(ニュータウン) への流入件数 イ)計画的開発団地(ニュータウ ン)の近隣センター・サブセン ター・会館のリニューアル件数 及び若年世帯向け新規住宅供給 戸数	ア)160件【累積】 イ)3件、400戸【累積】	毎年度	ア)24件 イ)0件	ア)53件 イ)0件	ア)79件 イ)0件	ア)108件 イ)0件25戸	ア)144件 イ)0件25戸	ア)○ イ)×
②こうへ空き家活用促進 事業	ア)空き家率 (住宅土地統計調査による) イ)既存住宅の流通シェア率 (住宅土地統計調査による)	ア)12.5% イ)30%	5年 5年	ア)- イ)-	ア)- イ)-	ア)- イ)-	ア)13.3% イ)28.4%	ア)- イ)-	ア)- イ)-
③質の高い道路空間づく り～道路のリデザイン～	道路のリデザイン実施延長	延長30km【累積】	毎年度	2.92km	8.24km	10.44km	12.52km	14.87km	×
④身近な公園の再生	身近な公園再整備数	10箇所【累積】	毎年度	1箇所	1箇所	2箇所	3箇所	3箇所	×

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

○達成が困難な事業(△、×の事業)の今後の方向性

- ①イ)名谷南センターのリニューアル事業は、平成29年11月に新会館棟、平成30年7月に商業棟がオープンしており、現在、住宅棟などに着手し、令和3年度に竣工予定である。かりばプラザのリニューアル事業は、令和2年8月に事業者公募を開始し、12月上旬に優先交渉権者の決定予定である。
- ② 平成30年住宅・土地統計調査では、賃貸用・売却用以外の「その他空き家」の数が平成25年調査と比較して全国では約1割増加したが、本市では減少しており、市場流通支援等の取組みが一定寄与していると考えている。引き続き、使える(住める)空き家は活用する、使えない(危ない)空き家は壊す、を基本方針に、空き家発生の予防のための広報・意識啓発、空き家等の流通促進及び地域活性化や福祉利用を目的とした転活用など、総合的な空き家対策を推進するとともに、特に「その他空き家」のうち、戸建て・長屋に重点を置いた施策を実施する。
- ③ 道路のリデザインに関しては、道路整備に対するニーズの多様化により、当初の想定よりも進捗が遅れているが、KPI達成に向けて、引き続き取り組んでいく。
- ④ 身近な公園の再生については、期間の前半にラグビーワールドカップ開催による御崎公園改修事業に事業費等を注力したため、当初の想定よりも他の公園事業が後半にずれ込んだ。一方で、平成30年2月に「KOBEPARKリノベーション」を策定し、特に子どもの遊び場拠点や健康づくり拠点等に位置づけている公園や人口減少対策プロジェクトである「リノベーション・神戸」エリアにおける拠点公園等を重点的に現在計画的に再生の取り組みを推進しているところである。

基本的方向⑤ 安心なくらしづくり

(2) 神戸における国土強靱化の推進

○主な取組み

- 総合的な防災対策と神戸における国土強靱化の推進
(河川等の土砂災害対策、浸水対策、地震・津波対策、大規模多様化する自然災害に対応できる消防・救急体制の構築等)
- すまいの耐震化を推進するため、無料耐震診断・耐震改修補助を実施

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①土砂災害対策、浸水対策	河川改修	ア)延長1,840m【累積】 イ)橋梁改良5橋【累積】	毎年度	ア)282m イ)2橋	ア)320m イ)2橋	ア)470m イ)2橋	ア)1,240m イ)3橋	ア)1,529m イ)3橋	ア)○ イ)△
②地震・津波対策	ア)橋梁(緊急輸送道路に架かる15m以上の橋梁)の耐震化率 イ)上水道の送水バックアップ率 ウ)防潮堤の補強延長	ア)85% イ)80% ウ)既成市街地の人家部及び都心部の浸水面積を概ね96%縮減	毎年度	ア)72.3% イ)60% ウ)胸壁改良1,300m、道路嵩上げ1箇所(胸壁進捗率:11%)	ア)74.1% イ)74% ウ)胸壁改良1,900m、洗掘対策3箇所(胸壁進捗率:29%)	ア)76.7% イ)75% ウ)胸壁改良3,525m、洗掘対策3箇所(胸壁進捗率:39.6%)	ア)77.7% イ)75% ウ)胸壁改良6,063m、洗掘対策4箇所(胸壁進捗率:73%)	ア)80.4% イ)75% ウ)胸壁改良6,722m、洗掘対策4箇所(胸壁進捗率:80%)	ア)○ イ)○ ウ)○
③社会基盤(道路、河川、公園、上下水道、港湾施設など)の戦略的な維持管理・更新	汚水管渠の再構築(耐震化)済エリア内昼間人口	33万人【累積】	毎年度	15万人	18万人	18万人	22万人	26万人	△
④自己決定力を高める防災基盤づくり	地区防災計画策定数	36地区【累積】	毎年度	計画期間対象外	計画期間対象外	70地区	86地区	108地区	○
⑤密集市街地の再生	まちなか防災空地整備件数	40箇所【累積】	毎年度	20箇所	36箇所	44箇所	50箇所	55箇所	○

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

○達成が困難な事業(△、×の事業)の今後の方向性

- イ)令和2年度完了予定
- 今後、下水道については、令和2年3月に策定した神戸市公共下水道事業経営計画に定める新たな管理指標に基づき継続して事業を進めていく。

(3) 健康寿命の延伸

○主な取組み

- 認知症「神戸モデル」の推進
- 健康管理アプリ「MY CONDITION KOBE」の運用開始
- フレイルチェックの実施

基本的方向⑤ 安心なくらしづくり

(4) 安全・安心な地域づくり

○主な取組み

- ・ 老朽家屋・空き家・空き地対策
- ・ 認知症神戸モデルの推進など、地域福祉の充実
- ・ 防犯カメラの設置補助事業

(5) ユニバーサルデザインのまちづくり

○主な取組み

- ・ 鉄道駅舎のバリアフリー化やノンステップバス導入の支援
- ・ 障がいサポーター養成講座などの啓発事業の実施
- ・ 出前授業や親子体験教室など「世界一ユニバーサルなまち神戸」を目指したさまざまな取組みの実施

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①ユニバーサルデザインの普及・啓発	子どもや学生への出前授業等の受講者数	23,000人【累積】	毎年度	計画期間対象外	6,837人	13,408人	20,728人	25,437人	○
②誰もがくらしやすいまちづくりの推進	ア)神戸市バリアフリー基本構想において選定された重点整備地区における生活関連経路等のバリアフリー化 イ)歩道の段差・波打ちの解消 ウ)公園における主要園路の段差解消等 エ)地下鉄駅施設における計画的なバリアフリー整備の推進	ア)5.46km【累積】 イ)延長10km【累積】 ウ)68%【累積】 エ)西神・山手線三宮駅ホームドアの設置	毎年度	ア)0.61km イ)1.5km ウ)55% エ)西神・山手線三宮駅ホームドアの設置 実施設計業務を実施	ア)1.53km イ)4.9km ウ)57% エ)西神・山手線三宮駅ホームドアの設置・発注	ア)2.60km イ)5.6km ウ)58% エ)西神・山手線三宮駅ホームドアの設計・発注	ア)2.74km イ)6.4km ウ)59% エ)地下鉄駅施設における計画的なバリアフリー整備の推進 西神・山手線三宮駅ホームドアの設置・運用開始(平成29年度)	ア)4.70km イ)7.2km ウ)60% エ)地下鉄駅施設における計画的なバリアフリー整備の推進 西神・山手線三宮駅ホームドアの運用	ア)○ イ)△ ウ)○ エ)○

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

○達成が困難な事業(△、×の事業)の今後の方向性

- ②イ)道路整備に対するニーズの多様化により、当初想定よりも進捗が遅れているが、数値目標達成に向けて、引き続き取り組んでいく。

基本的方向⑤ 安心なくらしづくり

(6) 地域福祉基盤の強化

○主な取組み

- ・ 区役所の自立相談支援窓口(くらし支援窓口)のアウトリーチ機能を専門に担うネットワークを配置
- ・ 市社会福祉協議会に地域福祉ネットワークを統括する職員を配置し、地域のネットワークづくり、居場所づくり、しごとづくりを推進

(7) 貧困の連鎖防止に向けた取組み

○主な取組み

- ・ 生活困窮者への学習支援
- ・ 住宅セーフティネットの構築(住宅確保用配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録制度)

(8) 障がい者が安心して暮らせるための支援

○主な取組み

- ・ グループホームの改修費用の助成
- ・ 空き市営住宅を利用したグループホームの整備

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①住まいの確保	グループホーム(定員数)	850人【累積】	毎年度	586人	618人	680人	734人	810人	○

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=x 測定不能=-

基本的方向⑥ 地域と地域の連携づくり

〈数値目標〉

KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
県及び近隣市町との連携による取組み件数	5件以上	毎年度	2件	4件	7件	7件	7件	○

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

(1) 顔の見える地域社会づくりと支え合い活動の推進

○主な取組み

- ・ 地域におけるコミュニティ活動を通じた、地域課題解決の支援

(2) 市民とつながる区役所改革

○主な取組み

- ・ モデル実施の検証を踏まえた、総合窓口のさらなる展開（東灘区、長田区、北区、垂水区、須磨区、北須磨支所、北神区役所、兵庫区、灘区）
- ・ 新たな区役所庁舎の建設に向けた動きの進展（兵庫区、北区は完成済み）

(3) 都市間連携

○主な取組み

- ・ 淡路3市との連携協定の締結及び連携事業の実施
- ・ 神戸隣接市・町長懇話会構成市町職員合同研修の拡充
- ・ 隣接する芦屋市、稲美町、明石市と緊急時連絡管の整備及び既設整備箇所含めた5市1町で定期的な合同訓練の実施

OKPI 達成状況

施策	KPI	KPI数値目標	調査周期	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
①近隣市町との連携	県及び近隣市町との連携による取組み件数	5件以上	毎年度	2件	4件	7件	7件	7件	○
②水道の安定供給体制強化に向けた県下市町との広域連携の検討と技術連携	近隣市町との緊急時連絡管整備箇所数	12箇所【累積】	毎年度	9箇所	11箇所	11箇所	12箇所	12箇所	○

達成度：KPI数値目標の80%以上=○ 50%以上80%未満=△ 50%未満=× 測定不能=-

(4) 県市協調

○主な取組み

- ・ 新長田合同庁舎供用開始
- ・ 兵庫県のひょうご産業活性化センターを神戸市産業振興センターに移転し、総合窓口としての「ひょうご・神戸経営相談センター」を開設
- ・ 中小企業融資制度の県市一本化

令和元年度 地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金 事業

1 アスタ新長田「オールインワンオフィス」整備事業

【事業の概要】

・新長田駅南地区の再開発エリアにて、地区外からの事業転入者の誘致、周辺地区への定着による地区全体の活性化を目的とした、公共のビジネス交流拠点「オールインワンオフィス」を整備した。

【KPI 令和元年度実績】 ()内は目標値

- ・本計画における直接経済効果 314,000円増 (1,256,000円増)
- ・拠点における会員からの会費収入月額 56,000円増 (220,000円増)

2 大学との連携による市内就職促進事業

【事業の概要】

・市内に 24 大学が立地する特性を活かし、今まで学生に届きにくかった市内中小企業の情報を有機的、効率的に伝える取組みを通じて、卒業後の学生の神戸市内への就職を促した。

【KPI 令和元年度実績】 ()内は目標値

- ・神戸市域における若年者の住民登録者数の増 1,673人減 (100人増)
- ・神戸企業による合同説明会参加学生の増 37名減 (50人増)

3 高度外国人材等獲得促進事業

【事業の概要】

・留学生の獲得、市内就職・定着支援に関する施策を一体的に取り組むとともに、在住外国人への総合支援によるくらしの質の向上事業を通じて、高度外国人材のさらなる市内定着を図り、高度外国人材の獲得及び活躍を目指す。

【KPI 令和元年度実績】()内は目標値

・「留学」による在留資格から就労可能な在留資格に変更した市内在住外国人のうち、在留資格変更の翌年度12月末時点で市内に居住している者の数 90人増（25人増）
・「留学」による在留資格から就労可能な在留資格に変更した市内在住外国人数 201人増（60人増）
・留学生を対象とした地元企業とのマッチングイベント（合同企業説明会）等への参加者数 188人増（15人増）

4 新たな交通政策の検討・実施

【事業の概要】

・コンパクトなまちづくりの検討に合わせ、次代の変化に対応した、市民の移動ニーズに合った公共交通を実現するため、まずは客観的なデータを収集し、それに基づいて公共交通の最適な配置を進める。既存の公共交通の見直しだけでなく、地域の特性や移動の実態に応じた新たな移動手段の導入を検討することで、地域の移動手段を維持・確保し、住み継がれるまちの実現を目指す。

【KPI 令和元年度実績】

・令和元年度は公共交通の最適配置の検討や新たな移動手段の導入の検討段階であるため目標値なし

5 里山地域における「しごとつくる」プロジェクト

【事業の概要】

・海・山に囲まれたコンパクトな都市部、国内有数の大学集積、県内有数の農村地域など多種多様なプレーヤーが互いに連携しながら活躍できる地域特性を最限に活かしながら、人口減少・高齢化が課題である市内農村地域に新たに移住・起業者を呼び込むため、農村地域で活躍できる人材を育成する里山起業スクールを開催。また、スクール修了生等が農村地域で活躍するための住居・起業拠点を整備し、移住・起業を促す。併せて神戸里づくりサポーターを創設し、地域内連携、広報発信を強化する。

【KPI 令和元年度実績】()内は目標値

・里山起業スクール受講者数 20人増（20人増）
・里山地域活性化拠点施設の整備 2箇所増（2箇所増）

6 健康・医療分野におけるベンチャーエコシステム構築事業

【事業の概要】

・健康・医療分野のベンチャーを支援する専任コーディネーターを配置し、健康・医療分野の新たなシーズ・ニーズを発掘。育成プログラムの提供・概念検証費用の助成を通じて、健康・医療分野の起業・創業を支援する。また、創業前後のベンチャーが入居するインキュベーションラボを整備し、ベンチャーの資金調達のハードルを下げるとともに、前述の育成プログラム・検証費用助成を通じて、スムーズな事業化を促す。これら施策を通じてベンチャーと協業を図る大企業の集積を目指し、神戸医療産業都市内でのエコシステム構築を目指す。

【KPI 令和元年度実績】 ()内は目標値

・交付金対象事業を活用して神戸医療産業都市に進出した企業・団体数 4社・団体増 (2社・団体増)

7 都市型創造産業及びクリエイティブ活動の集積と新たな価値の創造による六甲山の活性化

【事業の概要】

六甲山上エリアにおいて、都市型創造産業に関する事業所進出のニーズや誘致に向けた効果的なインセンティブについて基礎調査を行い、企業による山上遊休施設などの活用等により、オフィスの誘致を進める。併せて、既存施設などと連携して、施設の一部をワークスペース活用し、六甲山上全体をクリエイティブ活動ができる、他都市にはない、魅力的な空間へと成長させる。都市型創造産業等の集積、観光と仕事の融合という新たな六甲山上での魅力を発信するため、戦略的なプロモーション活動を行う。

【KPI 令和元年度実績】 ()内は目標値

・神戸市観光客入込客数 (六甲・摩耶) 40,000人増 (70,000人増)

8 先端技術による価値創造社会づくりプロジェクト

【事業の概要】

・荷物配送など民間分野での目視外飛行も含めたドローンの利活用 (災害対応、インフラ維持管理、農林水産業等) を促進するため、最新技術を用いたドローンを防災・農林・土木等の多様な行政分野で先行的に利活用する。
(兵庫県との共同事業)

【KPI 令和元年度実績】 ()内は目標値

・製造品付加価値額 - 億円増 (494億円増) ※令和元年度の数値は年末に算定。
・産学官共同研究参加企業数等 12団体増 (27団体増)
・目視外でのドローンの飛行面積 111ha増 (50ha増)

9 閉園幼稚園を活用した「地域の方の働く場」及び「地域活性化の場」の整備

【事業の概要】

・若年・子育て世帯の流入促進と流出抑制を進めるため、若年世帯に求められる共働きや職住近接等のライフスタイルに対応し、就業場所が限られている名谷エリアで、子育て中の方など短時間勤務を希望される方を対象とした新たな雇用を創出する「地域の方の働く場」を整備するとともに、子育て世代・若者・高齢者など様々な世代が集うことができる「地域活性化の場」をあわせて整備することにより、多世代交流の機会を創出し、地域の活力を維持向上させ多世代のひとが共生し持続可能なまちづくりを推進することで地方創生の実現につなげる。

【KPI 令和元年度実績】 ()内は目標値

・「地域の方の働く場」の雇用者数のうち若年・子育て世帯かつ新規就業者（49歳以下かつ直前未就業者）18人増（60人増）
・「地域の方の働く場」の若年・子育て世帯の就業者（49歳以下）の中で「地域活性化の場」での地域コミュニティ活動参加者割合 43%増（30%増）

10 革新的な医療技術の創出を加速させる次世代医療開発センター整備計画

【事業の概要】

・新たに建設されるオープンイノベーション拠点ビルに、最先端の研究設備や動物実験設備、共同ラボスペースを備えた「次世代医療開発センター（仮）」を設置し、高品質な研究環境の共同利用を促すことにより、集積する企業や新たに拠点ビルに入居する企業による医薬品等の研究開発を効果的に支援し、革新的な医療技術等のイノベーションを創出し、神戸市の医療産業を更に発展させ、神戸市の所得拡大や更なる「まち」の活性化を図る。

【KPI 令和元年度実績】

・令和元年度は施設等の整備中であるため目標値なし

11 シミュレーション技術とビッグデータ処理技術の高度連携によるものづくり革新拠点整備事業

【事業の概要】

・産業界が、スーパーコンピュータ『京』の後継機『富岳』を利用するために必要な技術レベルを身につけるトレーニング環境を整えるため、高度計算科学研究支援センターを高度化整備する。高度化により、ものづくり革新に不可欠な高度シミュレーション技術やビッグデータ処理技術の産業界への普及を加速させ、大型放射光施設Spring-8を活用した革新的材料開発や神戸医療産業都市にける創薬研究等との相乗効果も生み出しながら、地域経済の活性化を図る。（兵庫県との共同事業）

【KPI 令和元年度実績】

・令和元年度は施設等の整備中であるため目標値なし

企業版ふるさと納税 事業

1 六甲山の名勝「再度公園」の活性化事業

【事業の概要】

・六甲山の中腹に位置する再度公園において、施設の改修と利活用の検討、公園までのハイキングコースの整備等を行い、利便性と快適性を向上させることで、再度公園ひいては六甲山の交流人口の増加に繋げるとともに、神戸の魅力を広く発信する。

【KPI 令和元年度実績】 ()内は目標値

・再度公園におけるイベント等参加者数 4,838人 (6,148人)

2 クリエイティブ人材育成事業

【事業の概要】

・新しい価値・文化・社会の姿を提案する「神戸クリエイティブフォーラム」の開催を支援することで、神戸市における都市型創造産業の活性化と新たな雇用創出につなげる。

【KPI 令和元年度実績】 ()内は目標値

・フォーラム後の参加者の事業企画数 0事業 (5事業)

3 食と里のネットワーク構築プロジェクト

【事業の概要】

・農漁業地域で新たに起業・就業する人材について、既存の農漁業者や連携の見込まれる多様な業種とのネットワーク作りを支援する。

【KPI 令和元年度実績】 ()内は目標値

・ネットワーク参加者のうち新規就農者数 6人 (20人)
・ネットワーク参加者のうち農村への移住者数・起業数 2人 (10人)